

# 町長日誌 No.195



町長日誌の第195号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

## 令和2年1月15日(水) PM1:15

昨日14日夕方から今年初めてとも言える雪降りとなり、やっと町の中も冬景色になり、今シーズン初めて全線除雪車が出勤しました。新年のご挨拶のため訪れる方も多いこの頃ですが、皆さん一様に「今年はどうしたのですかね？こんなに雪が少ないと牧草に被害が出ませんか？」と聞かれます。当然のことに、土壌凍結がかなり深くまで入りますから牧草や秋撒き小麦、越冬長芋などに影響は大きいと思われれます。また、雪を利用したキャベツや大根などの越冬野菜も雪での保温が出来ずに安値での出荷となっています。またエゾシカは降雪量が多いと越冬できず自然淘汰されるのですが少雪のため今も牧草をほじくって食べておりかなりの被害となりそうです。また、水道としては山に雪が多く積もれば夏枯れや秋枯れが無く安定して供給できるのですが、このままだととても心配な状況です。さらにはスキー場ですが、来週から始まる学校のスキー授業が全くできない状態です。このように雪が少なくて困った状況を書き出してみましたが、まだまだ冬はこれからですし、一晩で一変することもありますので雪が少なくて除雪が楽だ！と喜びたいところですが、冬の除雪、スキー場の管理等など仕事として予算していた方々のことを考えますと「早く程々に降ってくれ！」と願う毎日です。

## 12月24日(火)

毎月の様に私や役場の課の方にお手紙を出してくださる方がいらっしゃいます。私が町長になってからずっと続いていますから17年となります。今回もその方から福祉保健課宛に手紙が届きましたので、2点のご意見に対しお答えをしたいと思います。まず1点目は「福祉灯油」についてです。これは町ごとに考え方が異なり、条例で毎年行うように決めている町もあれば本町の様に灯油価格の高騰時に限

り緊急対策として実施する町があります。本町の場合は道が対策を実施する時に合わせて町として独自の対策を取ります。しかし、この冬は灯油の大幅な高騰はないものの高値で推移するという微妙な状況で、今後中東情勢が悪化するなどにより高騰した場合などは緊急対策も考えられますが、今の状況では福祉灯油を行う予定はありませんのでご理解ください。

もう一つは、昨年国が唐突に示しました公立病院の統廃合問題です。このことについては以前にも日誌で書きましたが、国は「あくまで参考的なデータであり強制するものではない」との見解を直ぐに出したものの、当然のことに全国の自治体や病院関係者から批判の声が上がったためかなりトーンダウンしていますので、すぐに興部国保病院がどこかと統合されるようなことはありません。実は紋別道立病院を5市町村が受けて広域紋別病院とした時には滝上・雄武・興部の国保病院の存廃も視野に入れて検討しました。紋別である程度診療が完了出来る医師数を確保できるならば国保病院の診療所化も考えた時がありました。しかし、遠軽厚生病院よりも機能的に小規模で、何よりも脳神経外科が無く産婦人科が固定しづらい状況では、3町としては直ぐに国保病院を診療所に縮小することはできないと判断しそれぞれの病院は維持することになりました。広域紋別病院が開院して間もなく10年が経過していますが、滝上町は旭川に、雄武・西興部・興部は名寄市立総合病院への転院搬送が大半を占めます。このことは長距離搬送となりますので、二次医療機関への転院搬送前のしっかりした検査や応急治療と二次医療機関での手術後の回復期或いは終末期を受け入れる病床を持った一次医療機関病院が必要となります。従って現在の国保病院の機能が当面は必要だということになりますので現在名寄市立総合病院との連携強化、さらには3次医療機関である旭川医大との連携も進めていますので、安心して頂きたいと思えます。Tさん(仮称) いつもお手紙ありがとうございます。

令和2年が始まりました。町民皆様にとって今年がどんな年になるのか？ 子年は変化の年と言われるようですが良い方に変わる年であってほしいと願うばかりです。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

